

事業再評価シート

事業名	道整備交付金事業		
箇所名	森林基幹道 空野・五郎ヶ峠線	市町村名	美郷町

(上段()書きは当初計画)

実施方法	補助 交付金 県単			
事業期間	採択年度	再評価年度	完了予定年度	
	H 1 7	H 2 7	() H 2 8	
事業進捗	全体事業費 (百万円)	既投資額 (百万円)	進捗率(%)	
	() 1,440	1,002	() 70	() 100
再評価の概要	対象選定理由		事業効果(B/C)	対応方針原案
	事業採択後10年経過		() 1.88	継続

全体計画	<p>全体計画延長：8,120m</p> <p>起点：美郷町南郷上渡川字落ヶ谷</p> <p>終点：美郷町南郷上渡川字松塚谷</p> <p>利用区域内の現況</p> <p>利用区域面積：1,050ha</p> <p>うち民有林面積：1,050ha(南郷区：607ha 西都市：443ha)</p> <p style="text-align: center;">森林整備計画(10ヶ年計画)</p> <p style="text-align: right;">単位：ha</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">区分</th> <th colspan="2">H17-H28</th> </tr> <tr> <th>計画</th> <th>実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>主伐</td> <td style="text-align: center;">0</td> <td style="text-align: center;">45</td> </tr> <tr> <td>間伐</td> <td style="text-align: center;">247</td> <td style="text-align: center;">83</td> </tr> <tr> <td>造林</td> <td style="text-align: center;">0</td> <td style="text-align: center;">45</td> </tr> <tr> <td>保育</td> <td style="text-align: center;">52</td> <td style="text-align: center;">212</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td style="text-align: center;">299</td> <td style="text-align: center;">385</td> </tr> </tbody> </table>	区分	H17-H28		計画	実績	主伐	0	45	間伐	247	83	造林	0	45	保育	52	212	計	299	385
区分	H17-H28																				
	計画	実績																			
主伐	0	45																			
間伐	247	83																			
造林	0	45																			
保育	52	212																			
計	299	385																			

事業概要

< 林道開設 >

全体延長 8,120m
総事業費 1,440百万円
事業期間 平成17年度～平成28年度(12カ年)

< 林道区分 > 森林基幹道

自動車道区分 2級
車道幅員 3.0m
全幅員 4.0m

事業目的

目的と必要性

林道渡川・尾八重線(起点)と県道西都・南郷線(終点)とを結び、美郷町南郷区と西都市の市町界である稜線を東西に縦走する骨格路網となる基幹道を開設することにより、
効率的な森林経営や森林の適正な管理
災害時における奥地集落の迂回路的機能の発揮
県内外からの森林の総合利用を目的としたアクセス道としての機能を果たす。

計画での位置付け

林道網整備計画及び地域森林計画による

事業を継続する必要性

平成18年度から開設を始め、10年経過した平成27年度末現在における計画延長に対する進捗率は82%と高く、順調に開設延長を伸ばしてきている。また、当該路線は地元からの要望が高いことから、事業を継続する必要がある。

事業の進捗状況

現在の事業進捗状況

平成27年度末現在 事業費進捗率：70% (1,002百万円 / 1,440百万円)
延長進捗率：82% (6,680m / 8,120m)

今後の事業進捗見込み

完成区間は既に供用を開始しており、残りの区間(約1,400m)については引き続き整備を図り、平成28年度までには全線完成する予定である。

社会情勢等の変化

利用可能な国内の森林資源が充実しつつあることから、安定供給可能な資源として国産材への期待が高まっている。

スギ素材生産量（全国1位）	平成26年	1,533 千m3
製材品出荷量	平成25年	749 千m3
	うち県外出荷	503 千m3(67%)

利用可能な林分が増えており、今後は、主伐や長伐期施業の増加が見込まれる。

県全体（平成26年）

- ・ 保育管理が必要な7齢級以下 30%
- ・ 収穫可能な8齢級以上 70%

本路線の状況

民有人工林面積	うち収穫可能な面積 (8~10齢級以上)	割合
769ha	592ha	77%

木材価格が長期に低迷しており、生産コストの縮減が重要となっている。

スギ素材価格（中丸太）

事業採択時(H17)	11,800 円 / m3
現在(H26)	12,900 円 / m3

地球温暖化防止のためのCO₂森林吸収源対策として、間伐等の森林整備・保全を一層加速化していくことが重要となっている。

間伐計画	国（H25~32年度）	毎年52万ha	計416万ha
	県（H25~32年度）	毎年1万ha	計8万ha

木材需要増加への対応が求められている。

大型製材工場や木質バイオマス発電施設の稼働に伴い、木材需要が増加傾向にあることから、これらに対応していくことが求められている。

現在も地域住民からの早期開通が望まれている。

当路線は、全線開通が間近であることに加えて、森林管理及び木材生産の基盤、非常時におけるバイパス的役割等多様な用途が期待されていることから、早急な開通が望まれている。

事業効果の分析			
費用対効果 (B / C)			
総便益 (B)		総費用 (C)	
項目	金額 (千円)	項目	金額 (千円)
木材生産等便益	990,894	事業費	1,590,082
森林整備経費縮減等便益	1,260,271	維持管理費	6,601
環境保全確保便益	751,502	合計	1,596,683
合計	3,002,667		
		総便益 (B)	3,002,667
		総費用 (C)	1,596,683
			= 1.88
事業を継続することの事業効果分析 林業生産性向上による低コスト化			
開設効果指数			
生産指数	+	育林指数	= 3.67 1.2
・ 生産指数 =	$\frac{\text{蓄積計}}{\text{民有林針葉樹面積} \times 100 + \text{民有林広葉樹面積} \times 30}$		
=	$\frac{302,831}{761 \times 100 + 274 \times 30} = 3.59$		
・ 育林指数 =	$\frac{\text{利用区域内の3 齡級以下の面積}}{\text{民有林針葉樹面積} + \text{民有林広葉樹面積}}$		
=	$\frac{79}{761 + 274} = 0.08$		

コスト縮減
<p>切土量を抑制するため、可能な限りL型擁壁工等を採用したり、切土盛土量のバランスをとるとともに当林道外への残土運搬経費の削減を図るため現場内盛土施設の設置に努めている。</p> <p>また、環境に配慮し、濁水対策としては、導水パイプや、盛土法面への丸太筋工や種子吹付工を施工するなど、早期緑化による法面の流出防止等を図っている。</p>

代替案の可能性
<p>残延長が約 1,400m と短いことから、代替案は示していない。</p>

対応方針
<p>継続</p>

位置図(管内図)

